

# 青年部会・ご案内

送信日: 令和5年7月20日

送信枚数: 枚 (送付状を含む)

送付先: 青年部会会員 各位

差出人:

〒514-0009 三重県津市羽所町700 アスト津7F

三重県石油商業組合 / 三重県石油業協同組合

青年部会 会長 青山賢治

TEL: 059-225-5981 / FAX: 059-226-5543

事務局 専務理事 前川 肇

TEL:

FAX:

## 青年部会の開催について

いつも石油組合・青年部会の事業にご協力をいただきありがとうございます。

さて、標題のことについて久々に部会研修会を開催いたします。

講師は、普段中々お話をお聞きできない有名な救急救命医の先生です。

講演の後、都ホテルで懇親会を開催いたします。

つきましては、久々の事業でもありますので、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

### 記

日 時: 2023年9月22日(金)

集合場所: 15:00～ 近鉄四日市駅前の都ホテル四日市

講演: 「命の講演会」≒60分

元、三重大学医学部付属病院救命・救急センター長・教授 今井 寛 先生  
三重県のドクターヘリ配備に関わった先生です。

懇親会: 17:00～ 都ホテル四日市内中華料理四川にて Tel: 059-352-4131

会費: 5,000円 (SS活性化補助金3,000円/人を別途活用いたします。)

..... 申し込み .....

■連絡先 FAX: 059-226-5543

津市羽所町700 アスト津7F 三重県石油商業組合 (Tel: 059-225-5981)

会場の都合上8月31日(木)までにFAXにてお願いいたします。

2023年9月22日(金)の

青年部会の講演会と懇親会に ● 出席 ● 欠席 いたします。

○で囲んでください

会社名

名前

・食品アレルギーのある方は〇〇アレルギーとご記入ください。  
( アレルギーあり)

## ドクターヘリとは?



三重大学医学部附属病院  
救命救急センター長 今井 寛

## ごあいさつ

ドクターヘリとは、医療用モニター、人工呼吸器や除細動器など、救急医療に必要な医療機器等を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、医師や看護師が搭乗します。

このドクターヘリにより、生命の危険がある患者さんに救急現場から初期治療が始められ、速やかに医療機関へ搬送することが可能となり、救命率の向上や後遺症の軽減などの効果が期待されます。

その機動性と迅速性から「空飛ぶ救急治療室」、「究極の救急医療のデリバリーシステム」とも呼ばれています。

1999年、ドクターヘリ試行的事業が開始されました。日本に初めて正式にドクターヘリが配備されたのは2001年4月のことでした。2007年、救急医療用ヘリコプターを用いた救急医療の確保に関する特別措置法（ドクターヘリ法）が制定され全国に広がるなか、2009年の三重県医療審議会救急医療部門で、三重県は南北に180km、東西にも100km以上、離島もあり、救急医療体制に係る診療科は全国平均を下回っており、医療資源の不足が大きな問題で医療の集約化を図る目的でドクターヘリ導入すべきであり、その当時ドクターヘリの必要性は年間1500以上にものぼると見積もられました。そしてついに2012年2月1日より三重県でもドクターヘリ運航開始されました。その後は年々出勤回数も増え、2012年度には272件でしたが、2015年度には423件となっております。

夜間や天候不良な際には運航できないのですが、多くの県民の命がドクターヘリによって助かっております。病院ばかりでなく、行政、消防とも協力してこの事業をすすめるべきです。

今後さらなる救命に向けて県全体で医療を支える大きな力ですので県民の皆様には御理解御協力をお願いいたします。

## 安全な運航のために（地域の皆様へ）

ヘリコプターの特性上、運航及び離着陸の際には吹き下ろしの風や、騒音、砂塵などが発生します。このため、県民の皆様には大変ご迷惑をおかけする場合がありますが、人命救助というドクターヘリの重要な役割をご理解いただき、安全かつ円滑な運航にご協力下さい。

- ① 離着陸時に吹き下ろしの強い風（ダウンウォッシュ）が発生しますので、消防職員の誘導に従いヘリコプターが離着陸する場所から速やかに退避して下さい。
- ② ヘリコプターの離着陸の際は、風圧や騒音が発生します。吹き飛ばされやすいものは室内にしまって窓を開けて下さい。ベビーカー等は飛ばされないようにしっかりと保持して下さい。
- ③ ヘリコプターが着陸後、直ちに救命治療を行いますので、近寄らないでください。

## ニュース

ホーム > ニュース > 社会 > 温かい人間関係が大切 今井教授が「命の講演会」 三重大病院救命救急センター長

全て 政治・選挙 経済 社会 暮らし 観光 文化 学校 スポーツ 高校野球 インターハイ202

シェアする ツイート LINEで送る

松阪市 社会 暮らし 学校

2022年10月25日(火) 15:54 7面

### 温かい人間関係が大切 今井教授が「命の講演会」 三重大病院救命救急センター長



長年の救急医療の経験を踏まえて「命の大切さ」を話す今井教授＝殿町の市福祉会館で

地方医療を舞台にした映画「神様のカルテ」の医療監修に携わった三重大学医学部付属病院救命救急センター長の今井寛教授(62)による「今を生きる大切さ～命の講演会」(同講演会実行委員会主催、夕刊三重新聞社など後援)が22日午前10時から、松阪市殿町の市福祉会館で行われ、約70人が熱心に耳を傾けた。

今井教授は、埼玉県出身。北里大学医学部卒業後、米国に2年間留学し、静脈留置型人工肺について学んだ後、帰国して救急医療の道に進んだ。2011(平成23)年1月に三重大学に着任し、2カ月後に発生した東日本大震災の際には、医療従事者として現地で尽力。また、12(同24)年の県のドクターヘリの導入にも携わり、地域の救急医療に長年貢献したとして、今年、厚生労働省の「救急医療功労者厚生労働大臣表彰」を受けた。

今井教授は、これまでに1万人以上の死に直面してきたとし「死ぬことは絶対的事実だが、いつ死ぬかは分からない。多くの人が、誰にも何も言えずに亡くなってしまおう状況にある」と救急医療の厳しい現実を語った。

自殺を図り、首を深く切って運ばれてきた患者から「殺してください」と懇願されたことがあったとして、「医学部では殺すことは学ばない。目の前で消えかける命を、自分たちの手でつなぎ止めたかった」と医師や看護師などが一丸となって、治療に当たったと当時を振り返った。無事回復した患者から受け取った手紙には「運ばれて来たのは私の幸運です。心配り、感謝です」などと傷の影響で言葉を発せない患者に、日々笑顔で接した医療従事者への感謝の言葉が記されていたという。

「死が身近な職場にいて、『孤独』が最も健康を害すると感じる。死にざまは生きざま。家族と『死』について話すことはとても大切で、話していけないことではない。生きている間に温かい人間関係を築いて」と、つながりを持つことの大切さを説いた。

さらに「いつ何が起きるか分からない。今日が最後の日と常に思っている。悔いのない生き方をして、目の前のことに一生懸命取り組んでください」と締めくくった。

## 今井教授挨拶

平成23年 1月 1日 医学部附属病院救命救急センター長・教授を拝命いたしました今井寛です。

麻酔科研修、一般外科研修などを経て、胸部外科医になるべく、榊原記念病院、大和成和病院、北里大学病院で研修、その後米国へ2年間の留学後、北里大学病院救命救急センターに所属、そのまま胸部外科医とは違った道を歩み始めたのがきっかけで救急医療への道に踏み込みました。なれない救急診療で最初は緊張の連続でしたが、診断の醍醐味、時間経過で変化していく病態、迅速な判断・処置、瀕死の患者さんが回復には何物にも変えがたい感動でした。

この感動を若い救急志望の先生達と共有したいと考えています。



Like 0

Tweet

[`yahoo` not found] & [`evernote` not found]

Check

LINEで送る

## 令和4年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰および産科医療功労者厚生労働大臣表彰の被表彰者が決定しました

令和4年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰および産科医療功労者厚生労働大臣表彰の被表彰者が決定し、県内では、次の個人2名が受賞されることになりました。

なお、表彰式は、新型コロナウイルス感染症の影響をふまえ、行わないこととなりました。

### ○救急医療功労者厚生労働大臣表彰

#### 1 被表彰者

今井 寛 (いまい ひろし)

(国立大学法人三重大学医学部附属病院 救命救急・総合集中治療センター 教授)

#### 2 功績概要

救急、集中治療などの分野の教育指導や研究、学会活動に携わるほか、救急・災害医療関連の各種委員会活動、学生、市民対象の出前講座等を行うなど、地域の救急医療の推進に貢献した。

※当該表彰は、厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した個人や医療機関等の団体の功績をたたえるものです。(令和4年度は、全国で個人26名、団体3件、医療機関9件が受賞)

### ○産科医療功労者厚生労働大臣表彰

#### 1 被表彰者

菊川 東 (きくかわ あずま) ※「菊」の草冠は「+」となります。

(医療法人社団菊川産婦人科 理事長)

#### 2 功績概要

三重県立大学医学部附属病院や山田赤十字病院での勤務をはじめ、長年にわたり産科医療に従事するなど、地域の産科医療の確保・推進に貢献した。

※当該表彰は、厚生労働大臣が、都道府県知事の推薦のもと、長年にわたり地域のお産を支え産科医療の推進に貢献してきた個人や医療機関等の団体の功績をたたえるものです。(令和4年度は、全国で個人43名、医療機関3件が受賞)

## 本ページに関する問い合わせ先

### 三重県 医療保健部 医療政策課 地域医療班

〒514-8570 津市広明町13番地 (本庁4階)

電話番号：059-224-3370 ファクス番号：059-224-2340 メールアドレス：iryos@pref.mie.lg.jp